

これら、みんな県の仕事です。



県政が進まない、市政も良くなりません。県議会に鈴鹿市民の声を届けます。

- 横断歩道、停止線、信号機など交通規制の表示はすべて県の仕事。
- 通学路の歩道整備の問題も、県道や隣接する箇所が多く、県政への要望が必要です。
- 海岸堤防や河川の改修なども県の仕事。
- 地域コミュニティバスなどへの支援を行う市町の地域バス事業を応援することも県のやるべき仕事。
- 福祉医療(子ども、障がい者、ひとり親家庭)の医療費無料化や窓口無料も、県が行なえば市の負担は半額で済みます。
- 国民健康保険事業が県に一元化され、運営費は県から市に一方的に「納付金」として請求される仕組みになりました。市の保険料が値上げされないように、県政の場での議論が必要です。

森川ヤスエの重点政策

- 子ども医療費、中学卒業まで窓口無料に
- 子どもの学びを応援する奨学金制度
- 交通安全対策。消えた白線、道路標識、信号や横断歩道の整備
- 地域公共交通システムへの支援
- 防災・減災対策の強化
- 市町の国保会計への支援
- 教職員と学校スタッフを増やし、「働き過ぎ」をなくす
- 競争をおおる一斉「学力テスト」の廃止
- 無駄な海外視察は中止



女性の声を 県政へ

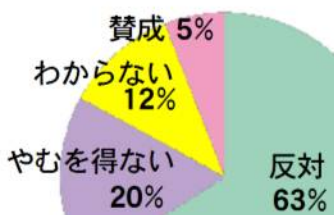
森川ヤスエ

鈴鹿市矢橋3丁目10-34
TEL 384-3740 FAX 384-2907

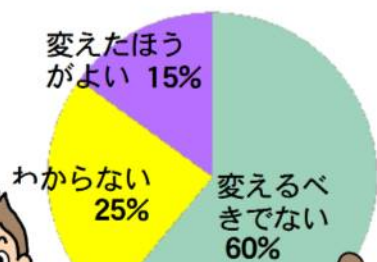


書き換えられた横断歩道(鈴鹿簡易裁判所前)

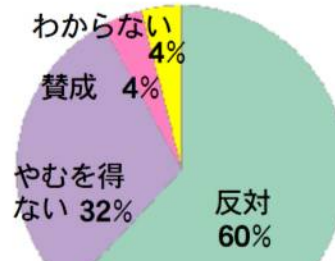
原発の再稼働についてあなたは？



憲法9条の改定について、あなたは？



消費税10%への増税について



あんなに福島の人が苦しんでいるのに、痛みがわかっていない。(女・60代)

安倍首相の考えている憲法改定案には賛成出来ない。(男・70代)

景気が悪くなるので5%に減税すべき(男・60代)

すずか民報

第153号
2019年1月
発行責任者 辻井良和
Tel. 386-0529

日本共産党鈴鹿市委員会は、本年4月に予定されている県議選と鈴鹿市議選に向けて、予定候補者と選挙政策を発表しましたので、お知らせします。



市会 はしづめ圭一

【略歴】1951年、大阪府阪南市生まれ。大阪府立今宮工業高校卒業。本田技研で42年間働く。2015年鈴鹿市議会議員当選。

市会 高橋さつき

【略歴】1970年5月、鈴鹿市生まれ。神戸小学校、神戸中学校、神戸高校卒業。歯科衛生士。現在、母と娘と猫2匹暮らし。

県会 森川ヤスエ

【略歴】沖縄生まれ。日大通信教育部長。結婚して鈴鹿へ。1995年、鈴鹿市議会議員当選6期目。現在は夫と一人暮らし。

市会 石田秀三

【略歴】1953年鈴鹿市生まれ。静岡大文学部卒業。鈴鹿市役所で12年勤務の後、1987年鈴鹿市議に当選8期目。

県政・市政に新しい風を

憲法を活かし暮らしを守る 日本共産党

国保料17%値上げ、3億円繰り入れで回避できた

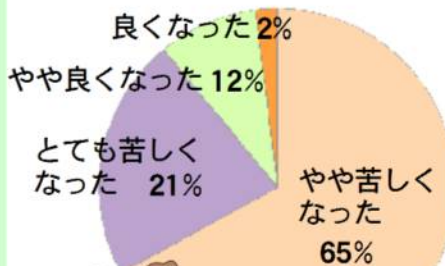
末松市長は前回選挙後の2016年、国保料を17%も引き上げました。市議会が党市議団は「選挙の年は値上げ案を撤回、選挙が終われば上げるのか」と批判、共産党はじめ10人の議員が反対しました。市議団は、各地の自治体が行なっているように毎年3億円を一般会計から国保に繰り入れて、値上げを回避する対案を示しました。

過大な上水道・下水道料金値上げに市民悲鳴

鈴鹿市は2018年4月から上水道料金12・5%、下水道料金20%の大幅値上げをしました。請求書を見た市民からは、悲鳴のような驚きの声が上がっています。

党市議団は、①上水道は今後10年の赤字だけなら値上げは6%ほどで済む。運転資金は、鈴鹿市全体の基金運用でやりくりできる。②下水道は今後数年間のピーク後に、一般会計からの持ち出しは減少、使用料収入は増加、借金は減っていく見通しで、いま大幅な値上げは、どうしても必要とは言えない。と分析、値上げ幅を半分にする対案を示し、反対しました。

最近の暮らし向きは？



学校・保育所ボロボロのままでは、次世代に渡せない

市の「公共施設マネジメント」計画では、築40年を超える校舎・体育館・保育所の建て替えが抑えられ、改修のメドも立たず、その間にさらに老朽施設が増えていきます。この悪循環を解決するには、思い切った集中投資と財政計画が必要です。「借金を次世代に残さない」と言うだけでは、ボロボロ施設を子どもや孫に渡すことになってしまいます。



老朽化がすすむ牧田小学校屋内運動場

市政・生活相談地域(主な小学校区)

石田 秀三 深伊沢、鈴西、庄内、椿、石薬師、井田川、国府、庄野、加佐登、合川、天名、郡山 伊船町2751 電話 371-0423 FAX 371-2469	高橋 さつき 神戸、河曲、牧田、清和、長太、箕田、一ノ宮、若松、玉垣、桜島 神戸6丁目5-21 電話 324-8226 FAX 324-8226	はしづめ 圭一 愛宕、白子、鼓ヶ浦、栄、旭ヶ丘、稲生、飯野、明生 岸岡町2874-1 電話 386-8561 FAX 386-8561
--	---	--

暮らしを守り、福祉・教育優先の市政に

日本共産党



日本共産党鈴鹿市議団の実績と政策

学校にエアコン付いた、次はトイレ直して

鈴鹿市は他市に先がけて、全小中学校の教室にエアコンが付いて、喜ばれています。子どもたちがのびのび学び活動できるよう、さらに環境を整備します。

校舎や体育館、屋外のトイレを改修、すべて洋式に替えます。「みんなのトイレ」もたくさん設置します。



子ども医療費、入学前まで窓口で無料に

子ども医療費助成は、通院・入院とも中学生までに前進しました。お金の心配なく医者にかかる「窓口無料」は2才児までと遅れていましたが、就学前までになります。さらに中学生まで全員、所得制限もなくして無料化をすすめます。

一人親家庭、障がい者の医療費もその対象を広げ、窓口無料にします。

学校給食、段階的に無料化にします

小中学校に兄弟が何人もいる家庭では、給食費などの保護者負担も大変です。

当面は多子世帯の負担を、保育料のように2人目・3人目は引き下げて、将来は全員無料にして、憲法に書かれた「義務教育は無償」を実現します。



消えた白線・横断歩道、書き換えすすめて

市内どこの地区からも「横断歩道が消えたまま」「センターラインも停止線も分からない」との声が。交通規制のラインや信号機は県の仕事、他の表示やカーブミラーなどは市の仕事。どちらも予算を増やし、通学路や生活道路を優先に、安心して通れる道路にします。

交通不便を解消する新しい生活交通を提案

地域巡回小型バスと、主要中心街を回る中型乗合バスの組み合わせで、高齢者や交通弱者の生活交通網の確立をめざします。

玉城町を走る運賃無料の「元気バス」



就学援助入学準備金、入学前に支給

これまで入学後の7月に支給されていた「入学準備金」を、3月支給に改善させました。就学援助が気軽に受けられる事務手続き、支給対象をクラブ費やアルパム代などに広げ、どの子も楽しく学校生活を送れるように改善します。

塩漬けの市有地、保育所用地や民間売却など処理すすむ

利用もされず25年余も「塩漬け」になっていた西条8丁目の土地が、老朽化した西条保育所の移転新築用地になり、来年4月に開園します。

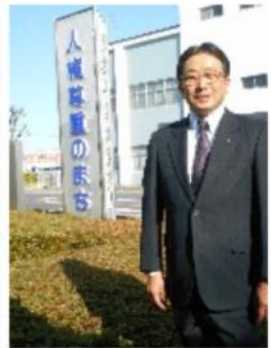
また高岡台3丁目の土地2万4千㎡は民間事業者に売却され、住宅団地工事が始まりました。



同和問題は終結の段階。片寄った「市民意識調査」やめよ

いわゆる「部落問題」は50年にわたる同和事業の取り組みと、行政と市民の努力によりほぼ解決しました。国の特別法も2002年に失効、「同和」と名のつく事業もなくなり、市庁舎の「部落差別をなくそう」の看板も外されました。しかし市は旧態依然とした「市民意識調査」を2015年に行ない、「依然として差別意識がある」と市民に押し付けています。

党市議団はこの間違いを指摘、同和行政の終結宣言を行なうことを求めています。

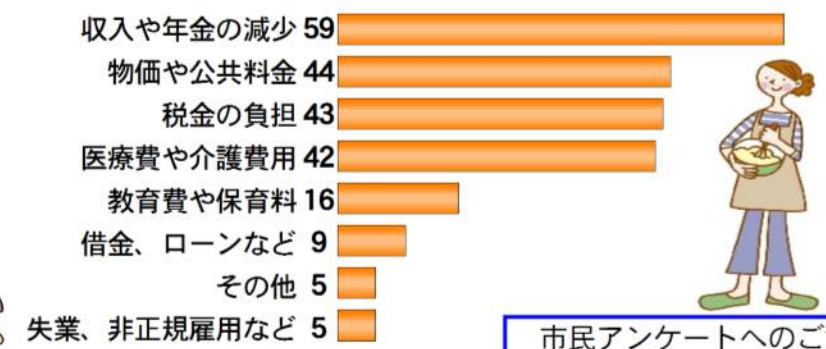


高い国保料、介護保険料、引き下げの努力を

昨年からの国民健康保険会計が三重県に一元化されましたが、保険料は市ごとに決めます。市議団は保険料を市独自に引き下げること、特に生まれたばかりの子どもにもかける「均等割」（1人当り年4万円）をなくすことを求めています。

昨年の介護保険料改定では、広域連合でため込んだ14億円もの基金を使って引き下げよう提案しましたが、7億円繰り入れで少しの値上げとなりました。さらに引き下げや減免を求めていきます。

暮らしのお困りごとは？



市民アンケートへのご協力ありがとうございました。お寄せいただいた277通の結果をお知らせします。(日本共産党鈴鹿市委員会)

鈴鹿市政に望むこと／福祉・医療・介護



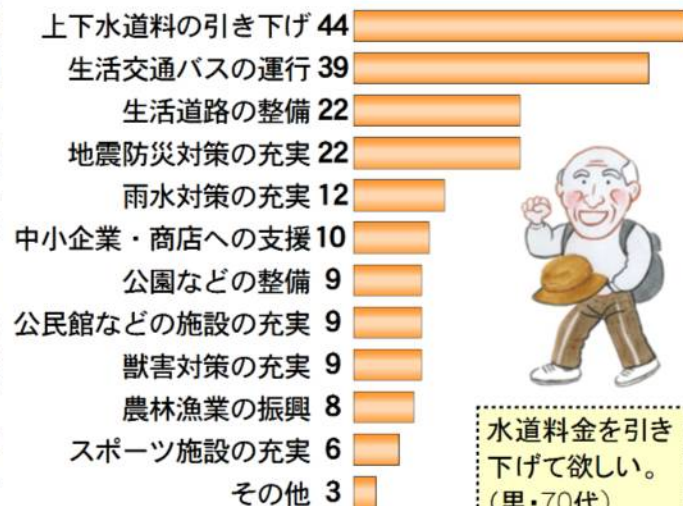
介護施設に入っていないのに、介護保険料が高過ぎる。(男・70代)

鈴鹿市政に望むこと／教育・子育て



通学路がとても狭く、子どもたちを安心して学校に通わせられない。(女・20代)

鈴鹿市政に望むこと／くらし、まちづくり



水道料金を引き下げて欲しい。(男・70代)

※複数回答のため合計は100%にはなりません